



なでしこ



令和6（2024）年10月
学校だより 第6号
北区立なでしこ小学校
URL:<http://www.kita-kyo.ed.jp/~es18>

「家庭・地域・学校で育てたいもの」

副校長 柴田 美智子

気がつけば、夏には小さめだった校庭のカリンの実はまるまると太り、イチョウの木の中には銀杏の実をつけ始めている木もありました。いつのまにか木々たちは、それぞれの色や形で秋の訪れを表現していました。厳しい夏の暑さにも耐え成長を続ける木々からは、たくましさや、黙って癒やしてくれる優しさをいつも感じています。

先日、一年生の廊下を通ったときに、「先生、私、一年生になったらたくさんのお友達を作ろうって決めていたの。だから、今、泣いていた子もお友達になりたいの。」と話しかけてきた子がいました。「素晴らしいね。ぜひ、声を掛けてあげてね。」とその子に話しながらも、この小さな女の子の純粋な言葉に、胸が熱くなりました。次に泣いている子に出会ったら、きっと声を掛けてくれることでしょう。

児童に身に付けさせたい資質・能力の一つとして、「学びに向かう力・人間性等」があげられます。具体的には主体的に学習に取り組む態度や自己の感情や行動を統制する力、よりよい生活や人間関係を自主的に形成する態度等で、リーダーシップやチームワーク、感性、優しさや思いやりなども含まれます。この「学びに向かう力・人間性等」を育成するには、児童生徒が自分の特徴に気付き、よいところを伸ばし、自己肯定感をもちながら日々の学校生活を送ること、地域、学校、学級において豊かな人間関係の中で有意義な生活を送ることが重要であると言われています。学校へ来れば嫌でも誰かしらと関わります。その関わりの中では嬉しいことだけではなく、困難なこともあるかと思えます。一つ一つの場面において子供たちが成長できるように、声を掛けて、目を掛けて、励ましくこと、見守ること、愛情をもって子供を育てていくことが、教師としてだけでなく、大人としての役割だと、改めて感じた出来事でした。

さて、10月15日より、なでしこ小学校における大改革でもある「新たな登校方法」の試行が始まります。学校だけでは指導が行き届かないところや気付かないことが多々あるかと思えます。児童が安全に登校できるように、ご家庭、地域のご協力をぜひお願いいたします。

新たな登校方法を試行します ～10/15(火)～11/22(金)～

児童には、9月17日（火）の朝会にて、新たな登校の仕方や安全に登下校するための留意事項を周知しました。ご家庭でも、個人で登校するのか、グループで登校するのかを話し合い、試行開始に向けた準備をお願いします。どの登校方法でも通学路を守ることをお声掛けください。また、児童の登校経路、誰と登校しているのかの把握をお願いします。



* 7月にまなびポケットにて配信した「地域班活動に代わる新たな登校方法実施のお知らせ」を確認する場合、右記に添付したQRコードを読み込んでください。



毎日の給食より

栄養士 市川 三紗

なでしこ小では、安心して安全、そしておいしい給食作りを心がけています。例えば、汁物のだしは鰹節や昆布、鶏ガラからとり、うまみをしっかりきかせます。カレーのルーは、小麦粉やバター、油を使い時間をかけて手作りしています。デザートはゼリーやスイートポテトも、1つ1つ丁寧に作っています。

今年度は、給食を中心とした食育の研究を進めています。9月に全校にとったアンケートでは、給食が「好き」「どちらかという好き」と答えた児童が97%でした。その理由で1番多かったのは「おいしいから」、次に多かったのは「ともだちとたのしくたべられるから」でした。今年度、前向きからグループでの会食に変更したことも、結果に影響していると考えられます。楽しい話題を共有しながらリラックスした状態で食事するとおいしさが増し、情緒の安定にもつながるといわれています。一方で、食事マナーの意識の低さが課題としてあがりました（詳しい結果は、後日お知らせいたします）。

食育の推進には、学校と家庭の連携が欠かせません。ふだんの料理を食育に変えるコツは、「楽しいおしゃべり」です。毎週のまなびポケットでの配信や、毎月のたべものしんぶんを、ご家庭での「会話のタネ」として、ご活用いただければ幸いです。

「学び」を重ねて成長する1年生

1年生担任 中村 彩

小学校に入学して5か月が経った1年生。日々の学習では、様々なことを学んでいます。国語や算数では、自分の考えを発表したり、友達の考えを聞いたりしながら学習を進めています。友達の考えを聞いて「その考えいいね!」と反応する姿も見られ、学びの広がりを感じています。図工では、毎月オリジナルカレンダーを作っています。その月を表すものを折り紙で作り飾るところは共通ですが、それ以外は自由に絵を描きます。「次は何を描こうかな?」と迷いながらも、いつも楽しそうです。生活科では、5月からアサガオを育てています。最後まで大事にしようと、今でも水やりは欠かしません。育てることの大変さはもちろん、育つ喜びを実感できる経験となりました。

日々の生活でも、「自分から挨拶すること」や「時間を守ること」など、少しずつできるようになっています。困っている友達に、優しい声を掛けてくれる温かさも感じます。これからも、一つ一つの「学び」を重ね、さらに成長する1年生を見守っていきたいと思います。

子供たちの学習の様子

7組担任 堀野 みゆき

7組の朝は元気な挨拶からスタートします。挨拶、支度、着替えなどを自分で進めます。もちろん、着替えた服は、きれいにたたむ約束です。朝の活動の一つで、3分間走に取り組み、自分の目標を超えられるよう、頑張っている様子です。（夏は走る機会が減ってしまったので、秋冬にかけて記録が伸びてくることを楽しみにしているところです。）朝の会では、週目標の確認、給食発表、ニュースの発表、クイズなど各係が活躍します。国語や算数は少人数グループで学んでいます。分からないところをそのままにせず、戻って繰り返し学習できることが大きな特徴です。また、1～6年までのみんなと一緒に学ぶ授業もあります。今年の大きな取り組みは、生活単元学習の「食べ物探検隊」です。梅干しを作ったり、栽培学習で育てた野菜を使って調理をしたり、田んぼの見学をしたり…食べ物をテーマに様々な体験学習をしています。さらに、栄養バランスの学習もしており、学芸会では、この学びを生かした劇の発表ができるよう、目下練習中です。

学習の中で、みんなの目が輝く瞬間があります。それは気付きの瞬間、学びのとき！その瞬間を大切に、そして一人一人がキラリと輝く姿を目指して、学習を積み重ねている7組です。